

党派を超えて存続を求めてきた高齢者の居場所 高齢者生きがい作業所 4カ所が存続

1年前、熊本市が廃止の方針を示した高齢者生きがい作業所のうち、陶芸窯のある4カ所の作業所が存続することになりました。

市議団としても、現場に足を運び利用者への聞き取りを行うとともに、一般質問でも存続を求めてきました。

多くの会派からも、存続を訴える声が相次ぎ、福祉子ども委員会では、「機能存続に向け最大限の取り組みを」との要望が委員総意で取りまとめられました。

高齢者の居場所としての生きがい作業所を守ることができたことを大変うれしく思います。



暮らし・福祉にあたたかい市政を！！

利用者が減少していることを理由に廃止方針を打ち出した熊本市。しかし、現場に足を運ぶと、「引きこもりがちだった生活が作業所に通うようになって変わった」「生きがいを奪わないでほしい」との、切実な声が寄せられ

ました。存続の方針が示されたことは大いに評価できるのですが、利用者の声をより丁寧に聞き、利用しやすい施設へと更なる改善を図られるよう、今後も頑張る決意です。

2015年～元旦から元気に活動を開始しました

2015年、元旦。共産党市議団は、初詣にお出かけの市民の方々へ、「暮らし福祉が大切にされる市政を」と決意を語るなど、元気に活動を開始しました。山本のぶひろ党県常任委員、やまべひろし党北区市政対策委員長、ひろせゆみ党南区市政対策委員長も参加しました。



1回定例市議会～2月16日に開会

2月16日	開会	24・25日	総括質疑
18日～20日	一般質問	26日	各分科会・委員会
まただ牧子議員の一般質問は20日午前10時からの予定です。		3月3日	締めくくり総括質疑
		5日	質疑・討論・4採決・閉会

(控室から)
井上栄次さんからのメッセージ 益田牧子
「最後の年賀状になります」との賀状を受け取ったのに、井上栄次さんの訃報を聞きびつくりしました。1月5日、103歳の大往生でした。
私は、100歳のお祝い会では、司会の大役をさせていただきました。そこで井上さんは、「恕」という孔子の言葉「弟子の「一生守らなければならぬのは何か」との問いに、「それは恕か。己の欲せざるころは、人に施すなかれ」と答えた」を紹介されました。辞書には、「許す。思いやる」とあります。「寛容」の精神とも通じ、憲法9条の精神こそ、国と国との関係に、「恕」の心を説いているのではないかと思います。
国内では、ヘイトスピーチによる「排外的な言葉の暴力」で、人々が傷つき、フランスでは、言論の自由を、テロによる暴力で封じ、多くの命が奪われました。個人間でも、国と国の関係でも、誰もが、「恕」の心で接すれば、多くの争いごとは、無くなるのではないでしょうか。
ナチスヒトラーの下で、排外主義が、民族主義を煽り、ユダヤ人400万人もの命がアウシュビッツなどのガス室等で奪われました。
今年は戦後70年。井上栄次さんのこのメッセージを胸に、安倍政権の「戦争への道」に抗して、頑張りたいと思います。

日本共産党 市議会だより
発行：日本共産党熊本市議団
まただ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 933
2015年1月18日
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

アンケートへのご協力ありがとうございます。大型ハコ物(MICE 施設)を止め、改修予算を増やし、一緒に住み良い公営住宅をつくりましょう!

日本共産党市議団は、市営・県営住宅アンケートを作成し、団地へのポスティングを行っています。寄せられた声を「住宅課・住宅センター」に届け、改修予算獲得・要求実現にがんばります。一緒に力を合わせましょう。今年もどうぞよろしくお願いします。

「家賃が安く、住み続けたい」一方で、「ベランダの手すりが錆びている」「畳替えをしてほしい」「風呂の追い炊きを付けて欲しい」など、施設改修の要望が多数寄せられました。

(南区の市営団地から寄せられた声)

- * 台所に給湯器がつけられず、ベランダの手すりが錆びてしまっている
- * 単身者用の団地を増やして欲しい。古い団地しか入居できないようでは困る。エレベーターもなく、古い団地には長く住めない
- * 2年前から3階にすんでいるが、足が不自由で大変です。近くの市営団地に変わりたいがかわれない。浴室やトイレ、段差解消、ベランダの屋根が剥がれている。トイレが詰まって流れない。(74歳)
- * 30年以上になるからリフォームしたい。(67歳)
- * ふすまの張替えは、自分でやるべきですが、11枚もあり、余裕もなくボロボロです。(80歳)
- * 浴室やトイレなどの住宅設備の改修(女性、65歳)
- * 台所のシンクがボロボロ、浴室の窓が閉まらない。洗面台がぐらつきだした。襖替えをしてほしい(24年間入居したままで汚い)、床もはがれ、抜けているところもある。(49歳)

(東区県営団地からの声)

- * 浴室に換気扇がないので、カビが出やすい。トイレも同じ。高齢者は、風呂釜が高くて入れない。

(西区の市営団地からの声)

- * 浴室の天井が高く、カビが生えても洗うことが難しい。(58歳)
- * 風呂の追い炊きができない。他の棟はできている。不便(冬は冷たすぎ)浴室が寒い。採光が悪い(台所は真っ黒、押入れをつぶして、陽が入るようにしてほしい。(55歳)
- * 風呂桶の丈が高く、高齢者が入ったり出たりするとき、とても危険。(72歳)

(西区県営団地からの声)

- * 築30数年の棟なので、網戸がはめ込み式の上、網の素材が古く、破損している。(73歳)
- * 団地内にバス停をつくってほしい。(40歳)

(北区市営団地からの声)

- * 補修もしてなくて、浴室のドアや引き戸等さびついてあかない状態だった。県も市も財政赤字だが、入居の時は、ある程度修繕してほしい。襖を閉めても、途中で倒れてくる。(72歳)
- * 建具など住居が歪んではならず、すきまだらけです。トイレが狭い。(78歳)
- 浴室が昔のつくりで寒すぎます。

- * 120戸のうち、8戸空いており、管理費の負担が大変です。市住宅課によると、改装の費用がないとのことですが、住宅で困っている人も多いのに、納得いきません。(72歳)
- * 住宅の管理の民間委託、駐車場管理も民間委託は、問題が起きた時点で、対応が無責任すぎる。(70歳)
- * 畳が大分いたんでいる。畳替えをしてほしい。(82歳)

- * 畳替えをしてほしい。公社に電話したが予定がないとの返事。
- * 年がたって、座って使用するトイレが良いです。足が曲がりません。(73歳)
- * 浴室にシャワーを付けて欲しい。



錆びが剥がれた玄関のドア